

平成29年度愛媛県保育協議会 研修会等アンケート集計結果

研修会等名	愛媛県教育・保育施設初級職員研修会
-------	-------------------

集計数	224
回収率	95%

Q 1	性別	男	女	無回答			
		13	210	1			
		6%	94%	0%			
	年代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
		190	23	9	1	0	1
		85%	10%	4%	0%	0%	0%
	地域	東予	中予	南予	無回答		
		70	94	57	3		
		31%	42%	25%	1%		
	研修会を知った方法	メール・FAX	HP	口コミ	その他	無回答	
		74	5	8	92	45	
		33%	2%	4%	41%	20%	
講義 I ・実技	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答		
	205	18	0	0	1		
	92%	8%	0%	0%	0%		

Q 2

・子どもにただ絵本を読むだけでなく、子どもと一緒に参加できる本の紹介やその読み方について知ることができた。

・たくさんの絵本を知ることができ、読み方や表現の仕方でも学ぶことができてとても勉強になった。

・現場で使える！と思うような絵本や手遊びがたくさんあった。表現するためにもまずは練習が必要だと思った。早速、クラスでも取り組んでいきたいと思う。

・絵本の選定の仕方について参考になった。

・楽しい絵本ばかりで、全部子どもたちと一緒に読みたいと思った。

・絵本の読み聞かせを行う上で大切にすることや絵本の選び方について知れて、とても参考になった。今後の日常生活や出し物で活かしていきたい。

・おすすめの本や絵本の読み方、ページのめくり方など勉強になるところがたくさんあり、おもしろかった。

・絵本の読み方だけでなく、小道具を用いた演出を実際に見ることができた。

・絵本は読み聞かせするものではなく、一緒に楽しむものであるという言葉に感心した。子どもたちの素敵な反応や発言を受け入れ、一冊の絵本を様々な視点から楽しめるよう心掛けたい。

・子どもや読む相手と楽しみ、共感しながら絵本を見る素晴らしさを知った。久しぶりに自分が絵本やパネルシアターを見る側になって、ワクワクしたり子どもの気持ちになりながら見ることができた。

・子ども向けの絵本なのに、自分もすごく引きつけられた。表現力は大事だと思った。

・絵本やおはなしをすることを専門にされている方なので、読み方やページをめくるタイミングなども考えてされているのだと感じた。おはなしの世界に引き込まれた。

・生活絵本を含めたくさんの絵本が紹介され、読んでみたい絵本が見つかった。また実際に演じてもらったので「こんな風に演じてみよう」というイメージが膨らんだ。

・絵本での遊びをいうものを知れてよかった。

・聞かされるだけでなく、一緒に読んだりして参加することができて楽しかった。

・絵本は一つの玩具であり、ただ読むだけではなく楽しめることが大切だと気付かされた。

・楽しかったし興味も持てたが、研修参加者が多く、かなり離れた場所で講義を受けたり、実技を間近で見られず残念だった。

・絵本が見えにくかった。先生の話し方は勉強になったが、少し軽い感じが怖かった。

・手袋人形シアター「カラスの親子」やぐりおは以前に楽しませてもらったが、今回パネルシアターもたくさん教えてもらったので実践していきたいと思う。

・文字をおっただけだけでなく、子どもの反応を見ながら展開をしている色々な楽しみ方があることを知ることができた。

・“読み聞かせ”という考え方も変わった。自分が楽しむことや、絵本の内容もわかっておくことが大切だと感じた。

・今まで自分がたんに読んでいた絵本も全然違った。一つの絵本でもいろいろなしなかけや隠しがあることを知れた。

・恥ずかしがることの方が恥だと知った。

Q 2

- ・本一つでたくさん遊べれることを知った。
- ・自分で読むときにどう工夫すればいいか気付くことができた。
- ・自分自身の保育技術の向上につながった。
- ・絵本をめくるタイミングの大切さに気付けた。
- ・絵本にはたくさんの種類があり、子どもたちとのコミュニケーション手段の大切な一つであることを知った。
- ・絵本の表紙だけでもスクリーンに出してもらえればよかったと思う。
- ・絵本の楽しさを体感しながら子どもにとっての絵本の重要さを学び、絵本から育つ力がたくさんあるとわかった。
- ・絵本が苦手だと思っていた気持ちをなくしてくれるような楽しいおはなしの世界だった。もっともっと楽しんで読んでみようと思った。
- ・年齢別で絵本を考えていたが、何歳でも楽しめる本はたくさんあることがわかった。
- ・楽しく時間が経つのも早かった。
- ・絵本など実物は小さく、見えづらかった。
- ・いろいろな読み方があるのを知ったが、園の保育方針であのような読み方はできない。
- ・絵本のとらえ方が変わるきっかけとなった。
- ・昨年と内容が同じところがあった。
- ・エプロンシアターの実演も見てみたかった。
- ・一つの絵本でも工夫の仕方により、0歳～小学生まで楽しめることがよくわかった。
- ・リズムが大切だと思った。
- ・また機会があれば参加したい。
- ・読んだことのある絵本もあったが、読み手が違うと物語（内容）の感じ方がここまで違うのかと実感できた。
- ・たくさん絵本を読んでみようと思った。
- ・休み時間に手に取ってみるスペースを作ってあり、とても参考になった。
- ・自分の知らない保育の道具をたくさん知れた。
- ・絵本一つで子どもの世界観が変わるんだと思った。本屋に行きたい気持ちが強くなった！
- ・声がよく通って聴きやすかった。

講義Ⅱ	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	147	72	4	0	1
	66%	32%	2%	0%	0%

・保護者の方の悩みや心の内側を知ることができ、かかわり方のヒントになった。

・事例なども取り入れてあり、想像しやすく受講できた。

・保護者支援のあり方について見直す機会となった。

・保護者との関係づくりについて悩みがあったので、解決策や自分のすべきことを知ることができた。

・話が99%くらいで、こちらが考える時間がなく、聴くのがしんどく感じた。

・保護者対応はとても難しいので、対応について学べてよかった。保護者が何を考え、求めているのかを少しでも理解し、子どもについて共有していきたい。

・困ったことがあったときにどのように対応すべきか、また一人で抱え込まないことの大切さがわかった。

・保護者との信頼関係を作るための保育士の態度や苦情対応について学べてよかった。

・一つひとつ丁寧に説明をしてもらえ、わかりやすかった。

・保護者支援について深く学ぶことは少ないので、具体的に話をしてもらいわかりやすかった。聴きやすく、実践してみたいと思った。

・自分の保護者対応を見直すきっかけとなった。具体的な声かけの仕方も学べてよかった。

・自分の考えを押し付けないように対応しなければならぬと再確認できた。

・今担当している保護者と照らし合わせながら聴くことができた。

・質問等ができればよかった。

・今回学んだことを生かして保護者の方と良い関係を築いていこうと思った。

・内容を詰め込み過ぎているように思う。

・時間が足りず、もっと聴きたかった。また少し急ぎ足だったように感じた。

・資料の最期まで聴きたかった。家庭環境や保護者も多様化している今、年度がかわり新しい出会いがある度に驚かされるのがたくさん。自分の固定概念にとらわれず、世の中の流れに、変化についていけるよう努力したい。

・子どもや保護者の行動の背景を偏った視点だけで見るのではなく、広い視点で受け入れつつ、支援を行うことが大切だと学ぶことができた。

・子どもたちだけでなく、保護者とのコミュニケーションも大切で、子どもを知るためには保護者という子どもに一番近い存在との関係づくりが大切だと感じた。

・資料もわかりやすく参考になった。

・保護者支援について知識を深められた。

・心理と社会学の視点から説得力のある講義だった。

・保護者ともっと密にかかわろうと思った。言葉の選び方にも気をつけたい。

・保護者支援は保護者によって対応を考えていかなければならないと思った。まずは保護者の話に耳を傾けていきたい。

・現場で初めて保護者支援の難しさを実感していたため、今回学ぶことができてよかった。

・保護者と子どもを個別ではなく、一緒に見ていくことの大切さを改めて感じたり、個々に合わせた援助をしていくことが大切だとわかった。

・講義を聴きながら「こんな人いるな」「自分もこんな対応しているかも」とドキッとすることがあり、とても勉強になった。

・“取り組みをほめる”という話を自分に照らし合わせてみると、自分のしていることをほめられると新人の自分にとっては嬉しいことだと感じた。話を聞いて受け止めることも大事だと勉強になった。

・少し難しいところがあった。

・保護者への対応をもっと知りたいと思った。

・現場をイメージして講義を聴けた。

・保育士としても、一人の母親としても共感することばかりだった。

・傾聴するための技法を意識しながら、伝えたいことをしっかりと伝えていきたい。

・内容が充実していたが、要点をまとめるのが少し難しかった。

・愛着関係の話で、今保育園にもそのような親子がいてすごく共感でき、対応のヒントになった。

・事例などをもっと聴きたかった。

・普段から保護者支援については悩みが多く、自分は本当にできているのか不安があった。今回の講義で支援の仕方を前向きに考えられるようになった。

・最後の職員間のチームワークの部分の聴きたかった。

・資料で苦情の事例があったが、それについてどう対応するのがいいのか（具体的にどう対応したのか）も知りたいと思った。

・絵や写真等があればよりわかりやすいように感じた。

・保育者の固定観念に縛られず、保護者の立場に立ち考え、対応していきたいと思った。

・ただ保護者の話を聴くだけでなく、そのために必要な準備や対応の仕方が大切だと思った。

・初めて知れたこと、これから大切にしたいことが明確になった。

・説明がわかりにくかった。

・一日保育体験や保護者を主体として支援を行う方法を知ることができてよかった。また、必ず答えを出さなければいけないということはないと知れてよかった。

・スライドばかりで少し見にくかった。

・自分の心のコンディションを整えておくことが保護者と接するときにはとても大切だと思った。

・子どもだけではなく、保護者の様子にも目を向けて、家庭全体をサポートできるような保育者でありたいと思った。

・保護者は保育者に怒られると思っていると初めて聴き、驚いた。なのでまずは保護者の努力を認め、評価した上で子どもの成長をともに見守りたいと感じた。

講義Ⅲ	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	185	36	0	0	3
	83%	16%	0%	0%	1%

Q 4

- ・子どもの発達を理解することが大切だと改めて感じた。また、つい否定的な言葉を使ってしまうこともあるので言い直して使おうと思った。
- ・先生の実際にあった話も聴けてよかった。
- ・保育士の前に自分自身について考え直すことができた。一言一言が今の自分にグサッと刺さってきた。もっと話を聴いてみたいと思った。
- ・とても説得力があり、学ぶことばかりだった。一生懸命さがとても感じられて、自分もこのままではいけないなと感じた。
- ・自分が子どもの発達段階をわかっていないと、保護者にも間違った情報を与えてしまうことがあるので気をつけないといけないと思った。
- ・子どもや保護者との接し方だけでなく、保育にあたっての「心持ち」を学ぶことができ、大変参考になった。今日学んだ気持ちでこれからの保育に臨んでいきたい。
- ・自分が今後どのように保育をし、子どもや保護者とかわっていけばよいかわかった。
- ・保育士として大切なこと、これから気を付けていこうと思えるものを再確認し、これから頑張っていこうとおもうことができた。
- ・自分自身を磨きながら日々成長していきたい。自分と向き合い、あり方を考えることができた。
- ・講義を通して、保育士としての役割と自分の声かけの内容など考え直すことができた。
- ・とてもわかりやすかったし、実際にやってみたいことなどが想像できたり、イメージが持ちやすかった。
- ・いろいろきになったり読んでみたくなって本や雑誌を集めるが、いつも途中でやめてしまっているのでもっと深めていけるよう意識して勉強していきたいと思った。発達についてももう一度学び直していこうと思う。
- ・今まで年長児が甘えていると、他の先生の目を気にしてできることは自分でするよう言葉がけしていたが、甘えさせてあげることも大切だとわかって安心した。
- ・大事にされているという実感を味わうことがその後の人生にも大きくかわっていくことを知った。
- ・子どもを受け入れて、その子を認めること…改めて大切なのだと感じた。今までもそうだったが、これからも“子どもから学ばせてもらっている”という気持ちを引き続き大事にしていきたいと思う。
- ・実体験がもとになっていたのでもわかりやすく、明日から実践しようと思った。
- ・子どもとのかかわりをクイズ形式にして考えられたり、講師の先生の経験の話も聴けたりして、とても有意義だった。明日からの子どもとのかかわり方、自分の気持ちの持ちようを変えさせてもらったと思う。
- ・子どもたち一人ひとりにしっかりと向き合い考えていこうと思った。
- ・共感できることや心に響く言葉もたくさんあって、時間いっぱいいろいろな考えが知れてよかった。
- ・否定的な考え方が子どもにとっても影響してしまう。肯定的な考え方を大切にしていきたい。
- ・保護者との連携の大切さをしっかりと学ぶことができた。
- ・ミドリ先生の話に引き込まれ、あつという間の2時間だった。
- ・保育士という人との出会いがある場で働いていることを忘れず、子どもと一緒に自分も成長し、保護者とも丁寧にかかわっていかなければならないと思った。
- ・保育士としての考え方やこれからの仕事への向き合い方が変わった気がする。良い保育士についてよく考えていきたい。
- ・子どもの目線で今後も仕事に励んでいきたい。
- ・子どもが持っている可能性を摘むのも伸ばしていくのも保育士だと思った。保育士の何気ない一言で子どもの人生が左右されるので、声かけも意識してしないといけないと思った。
- ・常に勉強をして学ばなくてはいけないと感じた。“今”に満足せず、本を読んだりNHKの子どもに関するものを意識して見ていきたい。
- ・大事にされると自分を大事にし、周りの人も大事にする。とても心に響いた。
- ・厳しい口調の中でも納得ができて、多くのことを学べてよかった。最初から最後まで集中して聴くことができるとてもいい講義だった。
- ・自分への問いかけがたくさんあり、今後の課題が見つかった。
- ・「にんじん」の例えがわかりやすかった。発達についてももう一度確認しておこうと思う。「早くできることゆっくりできる子がいるだけ」心に留めておきたい言葉だと思った。
- ・派略があってスムーズだったので聴きやすかった。
- ・もう少し自信を持って保育できるように頑張っていこうと思う。

講義Ⅳ	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	160	54	0	1	9
	71%	24%	0%	0%	4%

Q 5

・人として身に着けておくべきマナーを改めて学ぶことができた。

・様々な場面での対応の仕方について参考になった。

・電話に出る機会や外部の方とかかわる機会が増えるので、活かしていきたいと思った。

・無表情になりがちだと自覚していたので、上の歯の裏に舌をつける等学べてよかった。

・敬語や挨拶で間違っていることを知ることができてよかった。

・相手に好印象を与えられるように明日からの保育で表情や言葉遣いなど心がけていきたい。

・朝の電話対応は忙しいこともあって緊張するが、落ち着いてはつきりと対応していきたい。

・コミュニケーションは保育者にとってとても大切。クッション言葉など、実践を交えながら学ぶことができよかった。実践していこうと思う。

・リフレーミングをたくさん知って、連絡帳を書くときや口頭で伝えるときに使っていこうと思う。

・気持ちのよい講義だった。

・学生の時に受けたマナーに似ていて、今さらと感じることが多かった。

・先生の声がハキハキと聞き取りやすくテンポがよかった。

・敬語が苦手な焦ってしまうと二重敬語になってしまうので気を付けていきたいと思う。

・第一印象を良く思われるように、身だしなみだけではなく、表情や挨拶もしっかりしたい。

・電話では姿が見えないので、よりよい印象を与えられるように声色や言葉遣いに気を付け対応しようと思った。

・困っていたことが解決でき、自信が持てた。

・いろいろとまな一について学べてよかった。もっと早く学びたかった。

・明日から実践してみようと思った。

・ハキハキとさわやかに話し好印象を持たれる社会人になりたいと思った。

・社会人としての礼儀やマナーがわかった。しっかり身につけ社会人としての自覚を持っていきたいと思う。

・基本的なマナーについてよく考えることができた。

・シェアする必要がわからない。時間をもったいなく感じる。マイクを持って話してほしい。シェアする数が多すぎる。そういうのが精神的にキツイ人もいる。

・立ち方、おじぎの仕方を丁寧に教えてもらい、かかとをつけるきれいさを知った。

・先生をはじめ、スタッフの姿勢がとてもきれいでした。

・知っているようで知らなかったマナーを学ぶことができた。

・改めて自分を見つめ返す機会となりよかった。

・実践的でわかりやすかった。スタンバイの顔はすぐに使いたいと思った。

・話を聴いたり、見たりするだけではなく、自分でやってみることで改めてわかったり、人に見てもらおうことでできていない部分に気付いたりすることができた。できているつもりでも、周りから見たらできていないこともあるので、まずは人の目に見える部分を今一度見直していきたいと思った。

・もっと実践的な活動が多くてもよかったと思う。

・ビジネスマナーについて詳しく学べたが、保育士としてはかたい内容かなと思う。

・内面も大事だが、外面・第一印象が大切だと思った。

・報告・連絡・相談は、いつ、誰に、どのタイミングで行うのか、また自主的に行うことが大切。

全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	188	34	1	0	1
	84%	15%	0%	0%	0%

Q6

- ・様々な分野の講義を聴くことができ、いろいろな考え方やものの見方を知ることができた。
- ・とても充実した研修だった。
- ・保育士として今後、知識や子どもへの理解を深めていこうと思った。
- ・たくさん悩むことや困ることがあったが、今後に活かしたいと思える貴重な話を聴くことができた。
- ・休憩を挟みつつ、勉強できてよかった。
- ・今後もより切磋琢磨していかなければと思った。
- ・今回の研修で自分の無力さを痛感した。自分のためにもっと勉強をし、スキルアップしていきたい。
- ・自分の身につけたい部分について勉強できてよかった。
- ・どの講義も自分の知らないことばかりで、本当に二日間とも参加してよかった。またこの学びを実践していきたいと思う。
- ・実践を交えて学ぶ中で、どんなときに使えたかと振り返ったり、これから使っていこうとイメージすることができ、貴重な学びの場となった。
- ・今後保育士として働いていく上で必要になってくることがしっかりと学べたのでよかった。
- ・学んだことを明日からの保育に生かし、楽しく子どもたちと過ごしていきたい。
- ・もう少し小規模で講義Ⅲなど保育の現場で働かされていた方に話を聴く時間を増やした方が、現場で使えるのではないかと思う。
- ・時間が短く感じられるほど、具体的でわかりやすく、もっといろいろと教えてもらいたいと思った。
- ・保育士としてだけでなく、社会人としても学ぶことができた。
- ・今までの経験を振り返りながら参加でき、反省点もたくさんあった。
- ・もっと自分から勉強し、技術を上げていくべきだと感じることでよかった。
- ・保育の深さを感じることができた。
- ・運動遊びなど体を動かすものもあればよかった。
- ・座っている講義が多かった。
- ・保育士として現場に入り、たくさん迷いや悩みがあったが、講師の方々の話を聴いて、自分を好きになり前向きに頑張っていこうと思えた。参加してよかった。
- ・数年ぶりの保育士への復職だったので、初心を思い出すいい機会となった。
- ・初級職員としてこれからどう行動するか学ぶことができ、少し自信になった。
- ・堂々と寝ている人がいたり、携帯を触っている人が目に付いた。それが今の時代の人なのかもしれないが、その点について見直してほしい。
- ・仕事を休みたくないの、一日の研修にしてほしい。
- ・子どもの成長を願い、しっかりした保育観を確立させて明日からの保育に臨みたいと思う。
- ・質問コーナーがあればいいと思う。
- ・講義ⅠとⅡは保育に直結しており、とても勉強になった。
- ・県内にこれだけの保育仲間がいるんだ、と思った。
- ・もう一度自分を見つめ直し、子どもたちの手本として笑顔でかわり、信頼関係を築いていきたいと感じた。
- ・子どもに「寄り添う」という意味を改めて考え、よりよい保育を心がけていきたいと思う。
- ・意欲的にもっと保育しようと思った。
- ・知らない方とも交流することができ、他園の話もいろいろと聞くことができた。

Q7 今後、取り上げてほしいテーマや講演を聴いてみたい講師など

- ・ヒヤリハット事例
- ・発達障がい、気になる子への支援の仕方、環境設定の仕方。
- ・絵画指導
- ・音楽指導
- ・絵本
- ・保育士の不安に対する切り替えや心の作り方について
- ・子どもたちと楽しめる遊びをたくさん知りたい。(レクリエーション、手遊び、クラス遊び、リズム遊び、体操、運動遊び) 実践で使える新しいレパートリーを増やしたい。
- ・苦手な人でも簡単に弾けるピアノ
- ・新しくなった保育所保育指針のこと
- ・心に問題のある保護者への対応の仕方
- ・年齢別指導
- ・子どものストレスについて
- ・言葉が出にくい子どもへのかかわり方
- ・発達段階
- ・保育環境づくり
- ・体幹の育て方(実践の仕方)が知りたい。
- ・制作
- ・子どもの発達と玩具について
- ・食育
- ・愛媛の保育事情
- ・うたのおにいさん
- ・渡部徹先生
- ・越智ミドリ先生 発達について
- ・武知悦子先生 絵本の世界に引き込まれた。
- ・新沢としひこさん 手遊びやリズム遊び等
- ・桑原恵子先生(東温市)
- ・ケロポンズ
- ・せとちゃん
- ・てい先生 子どもとのかかわり方など
- ・倉石哲也先生
- ・ひろみちおにいさん 子どもと運動遊び
- ・光藤先生

※課題のみ抜粋

【講義Ⅰ・実技】

- ・楽しかったし興味も持てたが、研修参加者が多く、かなり離れた場所で講義を受けたり、実技を間近で見られず残念だった。
- ・絵本が見えにくかった。先生の話し方は勉強になったが、少し軽い感じが怖かった。
- ・絵本の表紙だけでもスクリーンに出してもらえればよかったと思う。
- ・絵本など実物は小さく、見えづらかった。
- ・昨年と内容が同じところがあった。
- ・エプロンシアターの実演も見てみたかった。

【講義Ⅱ】

- ・話が99%くらいで、こちらが考える時間がなく、聴くのがしんどく感じた。
- ・質問等ができればよかった。
- ・内容を詰め込み過ぎているように思う。
- ・時間が足りず、もっと聴きたかった。また少し急ぎ足だったように感じた。
- ・資料の最期まで聴きたかった。
- ・少し難しいところがあった。
- ・保護者への対応をもっと知りたいと思った。
- ・内容が充実していたが、要点をまとめるのが少し難しかった。
- ・事例などをもっと聴きたかった。
- ・最後の職員間のチームワークの部分を聴きたかった。
- ・資料で苦情の事例があったが、それについてどう対応するのがいいのか（具体的にどう対応したのか）も知りたいと思った。
- ・絵や写真等があればよりわかりやすいように感じた。
- ・説明がわかりにくかった。
- ・スライドばかりで少し見にくかった。

【講義Ⅳ】

- ・学生の時に受けたマナーに似ていて、今さらと感ずることが多かった。
- ・シェアする必要がわからない。時間ももったいなく感じる。マイクを持って話してほしい。シェアする数が多すぎる。そういうのが精神的にキツイ人もいる。
- ・もっと実践的な活動が多くてもよかったと思う。
- ・ビジネスマナーについて詳しく学べたが、保育士としてはかたい内容かなと思う。

【全体】

- ・もう少し小規模で講義Ⅲなど保育の現場で働かれていた方に話を聴く時間を増やした方が、現場で使えるのではないと思う。
- ・運動遊びなど体を動かすものもあればよかった。
- ・座っている講義が多かった。
- ・堂々と寝ている人がいたり、携帯を触っている人が目に付いた。それが今の時代の人なのかもしれないが、その点について見直してほしい。
- ・仕事を休みたくないなので、一日の研修にしてほしい。
- ・質問コーナーがあればいいと思う。